



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月5日 東

上場会社名 富士重工業株式会社 上場取引所  
 コード番号 7270 URL <http://www.fhi.co.jp/ir/index.html>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉永 泰之  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 齋藤 勝雄 (TEL) 03-6447-8825  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日 配当支払開始予定日 平成27年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,601,475	22.2	285,097	53.6	285,022	62.0	193,204	70.9
27年3月期第2四半期	1,310,236	16.4	185,662	23.2	175,951	20.3	113,019	13.2

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 190,654百万円(41.0%) 27年3月期第2四半期 135,256百万円(12.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	247.58	—
27年3月期第2四半期	144.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,361,732	1,192,528	50.2
27年3月期	2,199,714	1,030,719	46.5

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 1,185,340百万円 27年3月期 1,022,417百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	31.00	—	37.00	68.00
28年3月期	—	72.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	72.00	144.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,210,000	11.5	550,000	30.0	547,000	39.0	372,000	42.1	476.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	782,865,873株	27年3月期	782,865,873株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	2,485,761株	27年3月期	2,483,395株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	780,381,283株	27年3月期2Q	780,387,394株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提条件及びその他に関する事項につきましては、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、自動車売上台数の増加や為替変動に伴う売上高の増加などにより、1兆6,015億円と前年同期比2,912億円(22.2%)の増収となりました。

利益面につきましては、売上高の増加に伴い、営業利益が2,851億円と前年同期比994億円(53.6%)の増益となり、経常利益につきましても、2,850億円と前年同期比1,091億円(62.0%)の増益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、1,932億円と前年同期比802億円(70.9%)の増益となりました。

## [セグメントの状況]

第2四半期連結累計期間のセグメントの状況は以下のとおりです。

## ① 自動車事業部門

国内の登録車につきましては、「レガシィ」、「WRX」及び「クロスオーバー7」の販売が好調に推移したものの、発売から1年が経過した「レヴォーグ」、「フォレスター」の販売が減少したことなどにより、売上台数は5.0万台と前年同期比0.7万台(11.8%)の減少となりました。一方、軽自動車につきましては、「ステラ」の販売が好調に推移したことなどにより、1.7万台と前年同期比0.2万台(10.8%)の増加となりました。これらの結果、国内における売上台数の合計は6.7万台と前年同期比0.5万台(7.0%)の減少となりました。

海外につきましては、当社の重点市場である北米を中心に「レガシィ」、「アウトバック」、「インプレッサ」及び「WRX」の販売が好調に推移したことにより、売上台数の合計は40.6万台と前年同期比4.6万台(12.7%)の増加となりました。

地域別の売上台数は、北米で31.7万台と前年同期比4.5万台(16.4%)の増加、ロシアを含む欧州で2.3万台と前年同期比0.1万台(4.7%)の減少、豪州で2.3万台と前年同期比0.4万台(19.2%)の増加、中国で2.0万台と前年同期比0.8万台(28.6%)の減少、その他地域で2.2万台と前年同期比0.7万台(41.1%)の増加となりました。

以上の結果、国内と海外の売上台数の合計は47.2万台と前年同期比4.1万台(9.4%)の増加となり、為替変動の影響も加わり、全体の売上高は、1兆5,057億円と前年同期比2,777億円(22.6%)の増収となりました。また、セグメント利益につきましても、2,732億円と前年同期比947億円(53.0%)の増益となりました。

## ② 航空宇宙事業部門

防衛省向け製品では、哨戒機「P-1」の生産が増加したことにより、売上高は前年同期を上回りました。また、民間向け製品におきましても、「ボーイング787」、「ボーイング777」の売上増加及び為替変動の影響により、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、全体の売上高は735億円と前年同期比96億円(15.1%)の増収となりました。セグメント利益につきましても、96億円と前年同期比37億円(63.2%)の増益となりました。

## ③ 産業機器事業部門

ロシア向けの大幅減などにより汎用エンジンの販売が減少したものの、北米向けレジャービークル用エンジンの販売が増加したことや為替変動の影響により、売上高は185億円と前年同期比37億円(25.3%)の増収となりました。セグメント利益につきましても、6億円と前年同期比5億円(370.5%)の増益となりました。

## ④ その他事業部門

売上高は38億円と前年同期比2億円(4.9%)の増収となりました。セグメント利益につきましても、13億円と前年同期比5億円(54.1%)の増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、2兆3,617億円と前期末に比べ1,620億円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金と短期資金運用のための有価証券を合わせた手許資金の増加1,817億円、受取手形及び売掛金の減少192億円、商品及び製品の減少351億円、有形固定資産の増加275億円などです。

負債につきましては、1兆1,692億円と前期末に比べ2億円の増加となりました。主な要因は、未払法人税等の増加151億円、未払費用の減少127億円などです。

純資産につきましては、1兆1,925億円と前期末に比べ1,618億円の増加となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などによる利益剰余金の増加1,644億円などです。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、7,570億円となりました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は2,829億円（前年同四半期連結累計期間は1,347億円の増加）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上2,831億円、売上債権の減少200億円、たな卸資産の減少351億円、法人税等の支払703億円などです。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は969億円（前年同四半期連結累計期間は637億円の減少）となりました。主な要因は、固定資産の取得による支出（売却による収入との純額）558億円などです。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は395億円（前年同四半期連結累計期間は627億円の減少）となりました。主な要因は、短期借入金の増加59億円、長期借入金の返済による支出（借入れによる収入との純額）161億円、配当金の支払288億円などです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月8日に公表した予想に対し、自動車売上台数の増加、原価低減や為替レートの変動による影響等が見込まれるため、下記のとおり上方修正させていただきます。

なお、通期の連結業績の前提となる為替レートは1米ドル120円（前回公表118円）、1ユーロ133円（前回公表127円）となっております。また、下期の為替レートは1米ドル118円、1ユーロ130円としております。

## 平成28年3月期通期連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,030,000	百万円 503,000	百万円 495,000	百万円 337,000	円 銭 431.84
今回修正予想(B)	3,210,000	550,000	547,000	372,000	476.69
増減額(B-A)	180,000	47,000	52,000	35,000	—
増減率(%)	5.9	9.3	10.5	10.4	—
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	2,877,913	423,045	393,648	261,873	335.57

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等合計に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。)  
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	228,821	324,700
受取手形及び売掛金	164,540	145,385
リース投資資産	24,098	22,879
有価証券	444,737	530,522
商品及び製品	203,347	168,277
仕掛品	52,734	55,232
原材料及び貯蔵品	39,569	35,724
繰延税金資産	78,789	76,909
短期貸付金	157,070	145,463
その他	80,796	86,531
貸倒引当金	△1,233	△1,103
流動資産合計	1,473,268	1,590,519
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	128,225	130,325
機械装置及び運搬具（純額）	130,433	123,038
土地	177,075	176,944
賃貸用車両及び器具（純額）	8,765	18,066
建設仮勘定	28,611	56,327
その他（純額）	41,588	37,492
有形固定資産合計	514,697	542,192
無形固定資産		
その他	16,850	17,592
無形固定資産合計	16,850	17,592
投資その他の資産		
投資有価証券	111,558	117,242
退職給付に係る資産	3,659	1,845
繰延税金資産	13,113	12,653
その他	99,648	112,756
貸倒引当金	△33,079	△33,067
投資その他の資産合計	194,899	211,429
固定資産合計	726,446	771,213
資産合計	2,199,714	2,361,732

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	317,801	311,873
電子記録債務	74,420	79,376
短期借入金	41,443	47,732
1年内返済予定の長期借入金	44,329	36,978
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	54,987	70,133
未払費用	126,007	113,307
賞与引当金	21,668	22,098
製品保証引当金	49,708	50,921
工事損失引当金	0	77
その他	142,693	140,391
流動負債合計	873,056	882,886
固定負債		
社債	10,000	—
長期借入金	115,420	106,693
繰延税金負債	13,996	12,005
役員退職慰労引当金	409	402
退職給付に係る負債	17,963	17,922
その他	138,151	149,296
固定負債合計	295,939	286,318
負債合計	1,168,995	1,169,204
純資産の部		
株主資本		
資本金	153,795	153,795
資本剰余金	160,071	160,071
利益剰余金	697,414	861,783
自己株式	△1,382	△1,392
株主資本合計	1,009,898	1,174,257
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,986	15,872
為替換算調整勘定	10,025	9,492
退職給付に係る調整累計額	△11,616	△10,415
在外子会社のその他退職後給付調整額	△3,876	△3,866
その他の包括利益累計額合計	12,519	11,083
非支配株主持分	8,302	7,188
純資産合計	1,030,719	1,192,528
負債純資産合計	2,199,714	2,361,732



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	1,310,236	1,601,475
売上原価	929,651	1,087,212
売上総利益	380,585	514,263
販売費及び一般管理費	194,923	229,166
営業利益	185,662	285,097
営業外収益		
受取利息	1,019	1,489
受取配当金	470	762
持分法による投資利益	237	374
為替差益	3,890	—
不動産賃貸料	272	257
デリバティブ評価益	—	9,920
その他	1,475	458
営業外収益合計	7,363	13,260
営業外費用		
支払利息	1,553	1,368
為替差損	—	9,606
デリバティブ評価損	13,661	—
その他	1,860	2,361
営業外費用合計	17,074	13,335
経常利益	175,951	285,022
特別利益		
固定資産売却益	435	99
投資有価証券売却益	421	218
その他	392	204
特別利益合計	1,248	521
特別損失		
固定資産除売却損	1,650	2,252
その他	861	192
特別損失合計	2,511	2,444
税金等調整前四半期純利益	174,688	283,099
法人税等合計	58,962	91,164
四半期純利益	115,726	191,935
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,707	△1,269
親会社株主に帰属する四半期純利益	113,019	193,204

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	115,726	191,935
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,532	△2,114
為替換算調整勘定	13,431	△1,000
退職給付に係る調整額	1,426	1,201
在外子会社のその他退職後給付調整額	△58	10
持分法適用会社に対する持分相当額	199	622
その他の包括利益合計	19,530	△1,281
四半期包括利益	135,256	190,654
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	132,793	191,768
非支配株主に係る四半期包括利益	2,463	△1,114

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	174,688	283,099
減価償却費	31,527	35,748
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	△142
受取利息及び受取配当金	△1,489	△2,251
支払利息	1,553	1,368
固定資産除売却損益(△は益)	1,215	2,153
営業貸付金の増減額(△は増加)	△7,716	140
売上債権の増減額(△は増加)	34,601	19,965
たな卸資産の増減額(△は増加)	△21,925	35,119
仕入債務の増減額(△は減少)	37,821	△795
その他	7,529	△22,547
小計	257,798	351,857
利息及び配当金の受取額	1,749	2,734
利息の支払額	△887	△1,410
法人税等の支払額	△123,925	△70,322
営業活動によるキャッシュ・フロー	134,735	282,859
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	△2,112	△28,085
有価証券の取得による支出	△9,624	△3,174
有価証券の売却による収入	9,766	6,422
固定資産の取得による支出	△55,654	△56,310
固定資産の売却による収入	332	523
投資有価証券の取得による支出	△21,525	△24,174
投資有価証券の売却による収入	13,418	13,021
貸付けによる支出	△49,606	△53,389
貸付金の回収による収入	51,696	56,041
その他	△353	△7,773
投資活動によるキャッシュ・フロー	△63,662	△96,898
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△12,233	5,933
長期借入れによる収入	1,850	3,860
長期借入金の返済による支出	△22,038	△19,944
社債の償還による支出	△4,005	—
配当金の支払額	△25,721	△28,827
その他	△548	△564
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62,695	△39,542
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,549	△1,383
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	17,927	145,036
現金及び現金同等物の期首残高	557,870	612,085
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	△127
現金及び現金同等物の四半期末残高	575,797	756,994

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動車	航空宇宙	産業機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,228,033	63,848	14,751	1,306,632	3,604	1,310,236	—	1,310,236
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,941	—	129	2,070	7,684	9,754	△9,754	—
計	1,229,974	63,848	14,880	1,308,702	11,288	1,319,990	△9,754	1,310,236
セグメント利益	178,495	5,911	129	184,535	875	185,410	252	185,662

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動車	航空宇宙	産業機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,505,721	73,485	18,490	1,597,696	3,779	1,601,475	—	1,601,475
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,267	—	108	2,375	7,776	10,151	△10,151	—
計	1,507,988	73,485	18,598	1,600,071	11,555	1,611,626	△10,151	1,601,475
セグメント利益	273,170	9,647	607	283,424	1,348	284,772	325	285,097

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

**< 2016年3月期 第2四半期連結決算 参考資料 >**

金額：億円、台数：千台、比率：％

	前期実績 2015年3月期 第2四半期累計期間 (2014. 4. 1~2014. 9. 30)	当期実績 2016年3月期 第2四半期累計期間 (2015. 4. 1~ 2015. 9. 30)			前期実績 2015年3月期 通期 (2014. 4. 1~2015. 3. 31)	当期予想 2016年3月期 通期 (2015. 4. 1~2016. 3. 31)			前回当期予想 2016年3月期 通期 (2015. 4. 1~2016. 3. 31)
			増減	増減率			増減	増減率	
売上高	13,102	16,015	2,912	22.2	28,779	32,100	3,321	11.5	30,300
日本	2,928	2,852	▲ 76	▲ 2.6	6,529	5,721	▲ 808	▲ 12.4	5,655
海外	10,174	13,163	2,988	29.4	22,250	26,379	4,129	18.6	24,645
営業利益	1,857	2,851	994	53.6	4,230	5,500	1,270	30.0	5,030
利益率	14.2	17.8			14.7	17.1			16.6
経常利益	1,760	2,850	1,091	62.0	3,936	5,470	1,534	39.0	4,950
利益率	13.4	17.8			13.7	17.0			16.3
親会社株主に帰属する当期純利益	1,130	1,932	802	70.9	2,619	3,720	1,101	42.1	3,370
利益率	8.6	12.1			9.1	11.6			11.1
営業利益増減要因			為替レート差 売上構成差等 原価低減等 諸経費等 試験研究費	1,004 180 126 ▲ 217 ▲ 99			為替レート差 売上構成差等 原価低減等 諸経費等 試験研究費	1,060 419 303 ▲ 357 ▲ 155	
為替レート	102円/US\$ 139円/EURO	122円/US\$ 135円/EURO			108円/US\$ 140円/EURO	120円/US\$ 133円/EURO			118円/US\$ 127円/EURO
設備投資	597	506			1,107	1,300			1,300
減価償却費	277	313			648	670			670
試験研究費	363	463			835	990			970
有利子負債残高	2,322	2,014			2,112	1,800			1,800
業績評価			・4期連続の増収、増益 ・連結販売台数は第2四半期累計期間として過去最高 ・売上高、各利益は全ての半期を通じて過去最高				・4期連続の増収、増益 ・連結販売台数、売上高、各利益ともに通期として過去最高		
日本販売台数合計	72	67	▲ 5	▲ 7.0	163	142	▲ 21	▲ 12.7	144
登録車	56	50	▲ 7	▲ 11.8	128	108	▲ 20	▲ 15.8	107
軽自動車	15	17	2	10.8	35	34	▲ 0	▲ 1.3	38
海外販売台数合計	360	406	46	12.7	748	811	63	8.4	784
北米	272	317	45	16.4	570	624	54	9.5	600
欧州	24	23	▲ 1	▲ 4.7	47	51	4	8.3	50
中国	29	20	▲ 8	▲ 28.6	54	47	▲ 7	▲ 13.6	50
その他	35	45	10	29.1	77	89	12	16.0	84
連結販売台数総計	432	472	41	9.4	911	953	42	4.6	928
生産台数合計	436	460	24	5.4	914	946	32	3.5	935
日本	344	348	4	1.1	708	711	3	0.4	705
米国	92	112	20	21.5	207	236	29	14.0	230
売上高事業別	自動車 航空宇宙 産業機器 その他	12,280 638 148 36	15,057 735 185 38	2,777 96 37 2	22.6 15.1 25.3 4.9	26,990 1,428 290 71			
営業利益事業別	自動車 航空宇宙 産業機器 その他 消去・全社	1,785 59 1 9 3	2,732 96 6 13 3	947 37 5 5 1	53.0 63.2 370.5 54.1 29.0	4,009 189 8 19 6			

注1. 金額：億円（億円未満を四捨五入）、台数：千台（千台未満を四捨五入）、比率：％（小数点第2位を四捨五入）

注2. 企業結合会計基準等の改正に伴い、2016年3月期から従来の当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」へ表記変更

注3. 為替レートは富士重工業単独売上レート

注4. 連結販売台数は、国内連結対象販社の小売、海外連結対象販売統括会社の卸売、非連結対象会社に対する富士重工業の出荷などの合計値

注5. 日本生産台数にはトヨタ向け86/FR-Sの台数を含む。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる可能性があります。

2015年11月5日

## 富士重工業 2016年3月期 第2四半期連結業績の概要

### <2016年3月期 第2四半期累計期間業績：連結売上高>

スバル車の全世界販売台数は、前年同期比9.4%増の472千台となりました。国内販売では、軽自動車では前年を上回ったものの、新車効果の薄れた登録車が前年を下回り、同7.0%減の67千台となりました。一方、海外販売では北米を中心にレガシィ/アウトバックが引き続き好調に推移し、海外合計では同12.7%増の406千台となりました。

連結売上高は、為替変動や販売台数の増加等により、同22.2%増の1兆6,015億円となりました。

なお、全世界販売台数は第2四半期累計期間として過去最高<sup>\*1</sup>、また、海外販売台数、北米販売台数、連結売上高については全ての半期を通じて過去最高<sup>\*1</sup>となりました。

### <2016年3月期 第2四半期累計期間業績：連結損益>

連結損益は、諸経費等ならびに試験研究費の増加を、為替変動や販売台数の増加、原価低減の進捗等によりカバーし、営業利益が前年同期比53.6%増となる2,851億円となりました。経常利益は同62.0%増の2,850億円、親会社株主に帰属する当期純利益は同70.9%増の1,932億円となりました。

なお、当期業績において、各利益段階のいずれも全ての半期を通じて過去最高<sup>\*1</sup>となりました。

### <2016年3月期 通期連結業績見通し>

通期連結業績見通しについては、連結売上高3兆2,100億円、営業利益5,500億円、経常利益5,470億円、親会社株主に帰属する当期純利益3,720億円に上方修正します。原価低減の進捗や為替変動、販売台数の増加などを織り込み、前回見通しを上回る計画です。

なお、北米販売台数は7期連続で過去最高<sup>\*2</sup>、全世界販売台数、海外販売台数、売上高、各利益段階のいずれも4期連続での過去最高<sup>\*2</sup>となる見通しです。

通期連結業績見通しの前提となる為替レートは¥120/US\$、¥133/EUROです。

また、第2四半期累計期間業績ならびに通期連結業績見通しを踏まえ、第2四半期末及び期末の1株当たりの配当を72円とします。この結果、1株当たりの年間配当金は、前期実績68円より76円増配の144円となる予定です。

#### ※前回（2015年7月31日）公表の通期連結業績見通し

連結売上高3兆300億円、営業利益5,030億円、経常利益4,950億円、  
親会社株主に帰属する当期純利益3,370億円、  
想定為替レート ¥118/US\$、¥127/EURO

\*1：中間連結決算の開示を始めた2001年3月期以降の過去最高

\*2：通期連結決算の開示を始めた1986年3月期以降の過去最高

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。